



あなたと病院をつなぎます

静岡県立総合病院

病院だより

第28号

NPO法人

卒後臨床研修評価機構の認定を受けました！

当院は「教育研修病院」として、地域に貢献する医師をはじめとする各種医療従事者の教育に積極的に取り組んでおります。この度、初期臨床研修医※¹に対する臨床研修体制を整備し、質の高い研修医を育成するため、NPO法人卒後臨床研修評価機構（以下JCEP）の訪問調査を受審し、11月1日付で認定を受けました。JCEPとは、医療の質の改善と向上を目指すため、臨床研修病院における研修プログラムの評価や研修状況の評価を行い、より良い医師の育成に寄与することを目的に設立されたNPO法人です。

今回の受審では、123の評価項目のうち80%以上が適切と評価され、原則2年の認定期間のところ、4年の認定を受けることができました。この結果を踏まえ、今後とも研修プログラムの改善や質の向上に病院全体で取り組み、質の高い医師を育成するため努力していきます。

※¹ 医師法により、医師は診療に従事するにあたり、2年以上の臨床研修を受けなければならないと定められており、初期臨床研修医とは、卒後2年間の研修中の医師を指します。

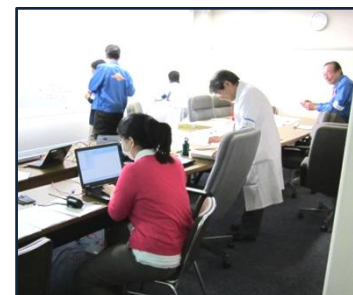


大規模地震の発生に備えて

トリアージ訓練を実施しました

大規模災害時には、十分な人員や物が供給されない状況で、多くの重症者に対応する必要があります。そのためには、正確な情報収集、およびそれに基づく迅速な判断が最も重要となります。

今回の訓練では、災害対策本部（院外機関との連携、広報）と救急診療本部（災害時医療の指揮・命令）の連絡体制及び情報伝達について検証し、また、被災地、他都道府県DMATの病院支援を想定して訓練を実施しました。



災害対策本部に情報が集まります



他の医療機関へ搬送する必要がある重症者を、緊急ヘリポートへ搬送します。



搬送されてきた方の重症度・緊急度を判断し、治療の優先順位を決定します

ご存じですか？11月14日は「世界糖尿病デー」

11月14日は国連が指定する世界糖尿病デーです。糖尿病は世界的に増加傾向にあり、世界の糖尿病患者は、2025年には3億2400万人に達するといわれています。また、日本もその例外ではありません。このような状況の中、世界糖尿病デーである11月14日には世界各地で糖尿病治療・予防啓発のキャンペーンが実施され、様々な施設が糖尿病撲滅のシンボルカラーである「ブルー」にライトアップされます。

当院では、静岡県内における糖尿病予防・治療の一環として、静岡県糖尿病協会および静岡県との共催により、11月14日に駿府城巽櫓を「ブルー」にライトアップするイベントを実施しました。



ブルーライトアップされた駿府城巽櫓
「11月14日（月）」

貴方は大切な人を救えます！！ 静岡県立総合病院 院長代理 野々木 宏 ～簡単な心肺蘇生法とAEDについて～

我が国では1年間に10万人の方が突然死（急死）し、その半数以上が循環器の病気です。循環器病による突然死の多くが、直後には“心室細動”と呼ばれる危険な不整脈によるとわかっています。また、子供の胸に突然の衝撃が加わり（硬式のボールが胸に当たるなど）生じる“心臓震盪（しんとう）”も、この心室細動が発生して“心臓麻痺”となり命取りとなります。

簡単な心肺蘇生法が効果的

急いで救急車を呼んで



心臓マッサージ（胸骨圧迫）を行って



AEDを使って下さい



119番通報して、心臓マッサージ

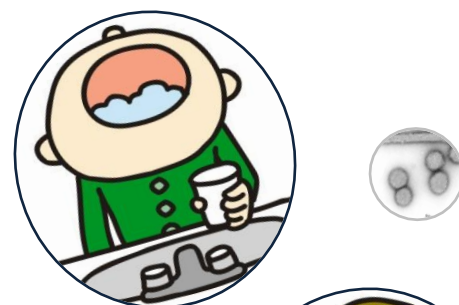
救命には、はやく通報をして、心肺蘇生法、自動体外式除細動器（AED）を使用して、更に専門的治療につなげることが大切です。心肺蘇生法は、胸の真ん中を圧迫する方法（1分間に100回のテンポ）だけで有効です。AEDの普及と皆さん方による心肺蘇生法の実施率をあげることで大切な方を助けることができます。災害の時にも必要となりますので、一度講習を受けてみましょう。

認定看護師コラム 感染管理認定看護師 鈴木清美・松丸万理子 インフルエンザに「かからない」、「うつさない」ために

寒さが一段と厳しくなってきました。冬に流行する感染症の代表が『インフルエンザ』です。なぜ、インフルエンザは冬に流行するのでしょうか？冬の気候（温度20℃前後、湿度20%前後）は、インフルエンザウイルスにとって長期に生存しやすい環境です。そして、乾燥した空気で弱った鼻やのどの粘膜にウイルスがくっつき感染します。

インフルエンザに「かからない」ためには．

- ◇ 外出から戻ったら、手洗い・うがいを必ずおこなう。
- ◇ 睡眠不足を避ける
- ◇ バランスのとれた食事を摂る。



インフルエンザにかかってしまったら．

- ◇ 休息をとり、水分補給を十分におこなう。
- ◇ 他の人に「うつさない」
 - ・ 人混みへの外出を避ける。
 - ・ 咳が出る時はマスクをつけ、鼻をかんだら手を洗う（呼吸器衛生/咳エチケット）



* 熱が下がっても1週間位はウイルスを排出していることがありますので注意が必要です。

急な発熱(38℃以上)、寒気、全身のだるさ、筋肉痛や関節痛などインフルエンザ様の症状が出た時には、早めに医療機関を受診するようにしましょう。

がん公開講座を開催します(1月29日、2月26日)

県立総合病院では、がん医療について、広く県民の皆様にお知らせするため、毎年、「がん医療公開講座」を開催しています。今年度も、1月29日と2月26日の2回、がん医療に関する最新的话题を、経験豊かな専門領域の医師や看護師らがお話しします。

第1回目は、「在宅患者様の支援にかかる病院と診療所の協力体制」、「肝臓がんの外科的、内科的治療」等をテーマに、第2回目は「放射線被ばくと医療被曝」、「抗がん剤」等をテーマに講演と公開座談会を予定しています。

※ 各回：定員350名、参加無料、要事前申込

日時

- 第1回：平成24年1月29日（日）14:00～16:30
- 第2回：平成24年2月26日（日）14:00～16:30

会場

「グランシップ」、11階「会議ホール・風」
静岡市駿河区池田79-4
◇ JR東静岡駅南口より東へ徒歩3分

問合せ

静岡県立総合病院 経営企画課
Tel: 054-247-6138、Fax: 054-247-6140
E-mail: keiei@general-hosp.pref.shizuoka.jp

くわしくはこちら
またはお近くの職員
へお問い合わせ
ください



～ご意見箱から～

患者様の声におこたえします(第24回)



患者様からのご意見箱を院内の9箇所（本館地下1階、エントランスホール、1・3・4・5・6階、北館1階）に設置しています。患者様のご意見を受けて、実施したことのいくつかをお知らせします。

◎ご意見◎

- 入院の都度、高額医療費制度について説明して欲しい。
- リーフレットを分かりやすくリニューアルしました。入院案内とともに配布し説明するようにします。
- 夜遅くなった時、駐車場の周りが暗すぎる。
- 北館の付近に暗いところがあり、照明の増設を検討します。
- ファミリートイレを使用していると、職員に「ドンドン」ドアを叩かれ、「身障者の人が待っているから早く出てください。」と怒鳴られた。車イスの人だけのトイレではないはず。
- 大変失礼な言動で申し訳ありません。ファミリートイレは車イスだけではなくどなたでもご利用になれます。このようなことがないように注意します。
- バイク自転車駐輪場東に、喫煙所新設のお願い。喫煙所を、もう一箇所設けて下さい。
- 当院は敷地内禁煙を実施しています。喫煙所を設けることはできません。

- エレベーターホールやソファの所に一般ごみ用のゴミ箱の設置を！
- エレベーター下待合、時間外待合に設置しました。
- 携帯電話禁止の標識がない。
- 携帯電話禁止と通話可能場所の案内標識を設置しました。

◎感謝のお言葉◎

- 帝王切開の手術中看護師さん達が優しく声を掛けて下さり安心しました。痛みに対する恐怖心が強い私に麻酔科医は術中終始痛みの有無を確認、手術の進行状況を説明し優しく声を掛けていただき、全く痛みが無く手術を受けられて良かったです。産科の主治医も、優しく声をかけて下さる方です。産科病棟の皆さんも優しい方が多く、優しい言葉掛けにどれほど心が救われたか知れません。今回出産するにあたり、こちらの病院を選んで本当に良かったです。皆さん本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。
- 患者様のお役に立てて大変うれしく思います。今後とも、患者さまのお力になれるよう、職員一同努力してまいります。

病院だよりでは、患者様へ院内の様々な情報を提供しております。病院だよりに関するご意見等がありましたら下記までご連絡ください。

発行：静岡県立総合病院 広報委員会
〒420-8527 静岡市葵区北安東4-27-1
電話番号 054-247-6111(代表) FAX番号 054-247-6140
ホームページ <http://www.shizuoka-pho.jp/sogo/>